

科目名称：	ファイナンシャルリテラシー	
担当者名：	北川良徳	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
ご自身の人生をどう生き、充実させていくか。日々の暮らしには食・睡眠・活動があり、そこに支出が発生します。人社会で生活を続けていくには、社会に関わる仕事をして収入を得、必要な支出に充てるお金を獲得します。この生活経済の知識、例えば、お金の運用方法や経済のしくみ、生活リスク、社会保険制度、税、相続などを、社会生活を始める前に知っておくことは、自立した社会生活のベースとなります。就業して収入を増やし、生活の質を向上できるよう、自身のライフプランを組み立てましょう。		
授業の達成目標・到達目標		
この授業では金融リテラシーを身につけます。1年後期に限らず、2年前期に継続して、まず生活に関わる社会保障・税・金融経済の基礎知識の取得を目指します。また、国家資格であるファイナンシャルプランニング技能士3級合格を目標としますが、更に上級の2級にも到達可能です。この資格取得が、人生を歩むうえで必要な広い生活経済知識を習得しているという自信になると同時に、就業する業種を問わず、社会での客観的プラス評価となります。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)			80	20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 ファイナンシャルプランナー	《経験年数1》 26年
	《内容2》 生命保険・損害保険の相談・設計販売	《経験年数2》 42年
	《内容3》FP技能士2級・3級受験講習	《経験年数3》12年
	《内容4》金沢市シニア相談、FP協会相	《経験年数4》3年、10年
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
公的年金：遺族障害老齢の制度内容・受給額	制度内容と具体的受取額が説明できる	制度概要の説明、受取額が概ね説明できる	制度概要、国民年金受取額が説明できる	制度概要を理解するも理解度に不足有
社会保険・個人保険制度内容	現在の生活水準維持に組み合わせることができる	制度内容を説明できる	各制度は理解している	幾つかの制度は理解している
経済のしくみ概要、運用、所得と税制	経済の流れ・指数、運用、税制の習得	経済・税制・運用を理解している	所得と税制度を理解している	所得と税制の幾つかは理解している
ライフプラン、相続、贈与、不動産	必要知識を基にライフプラン組立、特例制度なども理解している	相続・贈与・不動産知識等を理解している	相続・贈与・不動産概要を理解している	自身のライフプランは立てられる

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 授業のガイダンス・暮らしの収入と支出	学生生活・将来の暮らし、ライフプラン	30分
第2回 FP資格・健康的生活経済 (将来設計についてグループディスカッション)	パーソナルファイナンス、ライフイベント、これから10年のライフイベント表	30分
第3回 ライフプランニング、資金計画、キャッシュフロー表	資金計画と係数・社会保険・公的年金	30分
第4回 生活リスク 保険とは	保険の基本と活用法、生命保険	30分
第5回 生活リスク 人と物の備え	損害保険	30分
第6回 経済と金融資産運用	経済金融指標、預金金利	30分
第7回 金融資産運用	債券、株式、投資信託、外貨建商品	30分
第8回 金融資産運用	ポートフォリオ、金融商品と税金	30分
第9回 タックスプランニング	税制と所得税	30分
第10回 タックスプランニング	税額計算と税額控除、	30分
第11回 タックスプランニング	申告と納税	30分
第12回 不動産	土地・建物、法令	30分
第13回 不動産	税金と有効活用	30分
第14回 相続	相続の基礎と相続税	30分
第15回 相続・贈与	増与と財産の評価	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

**成績評価の方法・基準**

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。  
テキスト第1章から第6章の簡易レポートを14・15回目に提出とし、80%で評価する。  
また、授業への貢献を20%で評価する。

**課題に対するフィードバック**

グループディスカッションでの取り組み、提出レポート、授業取組の評価をフィードバックします。

**教科書・参考書**

FP3級合格のトリセツ テキスト・速習問題集、学生生活マネー&キャリア、パーソナルファイナンス  
テキストの該当ページを開きながら説明を行い、他必要な資料も適時活用する。